

素朴な暮らしに憧れて辿り着いた
不便だけど楽しい田舎暮らし



紀美野町
助野 梓さん
SUKENO AZUSA
大阪から移住

長女の楓子ちゃんと一緒に畑の野菜を見て回る助野さん夫妻。「これ、レタスだよ」と梓さんが差し出すと、楓子ちゃんはいっせいに目を輝かせた。



世界中を旅行しながら描いた
絵日記は助野家の宝物。

親子3人での新生活
「古民家の完成が楽しみ」

時間があれば、改修中の古民家を親子3人で見に行く。完成はまだ先だが、「今から楽しみ」と梓さんと彰昭さん。梓さんは現在、子育てを彰昭さんの両親に手伝ってもらいながら、家事と仕事をこなす多忙な日々を送る。お昼と夜に楓子ちゃんを寝かせてからベンを持って机に向かう。



「わたしの和歌山ぐらし」は、東京、大阪、和歌山の移住相談窓口「わかやま定住サポートセンター」で配布されている。ホームページ「WAKAYAMA LIFE」でも閲覧できる。
<http://www.wakayamagurashi.jp/wakayamagusashi/index.html>



大工仕事なら、お任せ
木の魅力にこだわる英国人



古民家を改修する英国出身の大工、ドミニク・アレンさんは平成18年、結婚を機に紀美野町に移住。「工房アレン's」を構え、カフェやパン屋など、県内で数々の建築を手掛けるほか、家具作りもしている。「曲がった木材を上手に梁に使ったり、日本人の大工さんの仕事、すばらしいネ。改修は難しいけれど、エキサイティング」。



工房アレン's
住所 / 海草郡紀美野町西野23-1
電話 / 090-4765-1089

わかやまでの日々の暮らしとまちブラ日記



紀美野町の
かわいいカフェ



キノノカ
農家が作る本格ジェラートのお店



新焼き石窯パン岳人



森のパン屋さん



せせらぎが心地いい清流が近くを流れる。畑への道すがらに見つけたクレンソウを摘みながら「古民家のまわりには食べれる山菜や野草も多いんですよ」と梓さん。楓子ちゃんもバクリ。

大阪から車でたった2時間。そこは空も山も川も美しい紀美野町。「娘が、畑の横でカエルやオタマジャクンを触ったりして遊んでいるのを見たら、ああ、ここに来てよかったと思う」と目を細める。



くらとくり
マルイチファームが運営するコーヒー専門店と食堂



ドーシェル

街から少し離れた紀美野町だが、魅力的なカフェやパン屋さんが点在。ドーシェルは梓さんが移住して間もない頃、片道35分もかけてアルバイトに通ったパン屋さん。



優しく濃厚な甘さが
お気に入り。



みろく牧場

受け入れ施策 Come on!

移住を推進する和歌山県では、「くらし」「しごと」「住まい」の面からさまざまな支援制度を整備、移住者をサポートしている。助野さんが利用したのは、最大100万円までの支援が受けられる移住者起業補助金。イラストレーターの仕事に不可欠なパソコン購入費などに充てた。古民家改修にも空き家改修補助金を利用。「移住には出費がかさむので助かった」と話す。詳しくは→<http://www.wakayamagurashi.jp/how-to/support/>

どこまでも続く山々。清流にホタルが飛び交い、夜空には満天の星が輝く。そんな自然豊かな紀美野町での田舎暮らしをつづったコミック「わたしの和歌山ぐらし」が、移住者たちの共感を呼んでいる。「最初は驚くことも多かったですが、今はカエルの鳴き声を聞いてほっとするようになりました」と作者のイラストレーター、助野梓さん。
梓さんは大阪で生まれ、京都の大学に進学。その後似顔絵作家として活動していた平成23年、夫の彰昭さんと結婚。「えいやっ」とばかりに、世界約60カ国をめぐる新婚旅行に出發した。その場でイラストを描きながらの旅は2年にも及んだ。そこで心をひかれたのが、山岳民族の素朴な暮らし。「帰国後は自分たちも田舎暮らしを」と、彰昭さんの郷里、紀美野町に移住を決めた。京都時代の生活からは一変。夜

「子供を育てるのには、とてもいい環境だと思います。近所の人たちも、すごくかわいがってくれますから」と顔をほころばせた。
平成26年には、長女、楓子ちゃん
が誕生。現在、新居として古民家を購入し、近くに住む英国人の大工、アレンさんに改修を頼んでいる。古い梁材を生かしつつ、お気に入りのステンドグラスをはじめこむなど、じつくりと作業を進めている。

は真っ暗で、スーパーやコンビニへ行くのも車で30分以上かかる。戸惑うことも多いが、都会では得られない喜びも。「京都では、朝から夜まで会社にこもって絵を描いて、食事でもコンビニのお弁当。季節感も何もなかった。それが今は、春になればタケノコ、そしてラッキョウ、新生姜と旬のものが食べられる。日々、四季の移ろいを感じられるようになりました」と梓さん。



和歌山最大の望遠鏡を有するみさと天文台。予約なしに満天の星空を観察することができる。昼間の芝生広場は紀美野町が一望できる助野家のとっておきのスポット。天文台から新居の古民家も見える。